

能登教区通信

発行責任者 真宗大谷派 能登教務所長 篠原 亨栄

このたび、標記通信2017年6月号を発行いたしましたので、ご一読のほどお願い申し上げます。

教区教化事業のご案内

◆こころの広場◆ 同朋会推進部門

- ・日時 2017年6月17日(土) 午後2時～4時
- ・講師 金子 光洋氏(高田教区 最賢寺)
- ・講題 子ども食堂を通して
- ・参加費 500円

◆真宗に学ぶつどい◆ 同朋会推進部門

- ・日時 <第2回>6月20日(火) 午後7時～8時30分
<第3回>7月20日(木) 午後7時～8時30分
- ・講師 瓜生 崇氏(京都教区 玄照寺)
- ・テーマ 人はなぜ弔うのか? -真宗の教えと葬儀-
- ・参加費 1回500円
- ・備考 教師陞補第1種認定の講座です。3回全ての出席で受講証を発行します。

◆てらカレ部-あみだ食堂-について◆ 時代社会部門

時代社会部門において、閉塞感のある社会の中で、特に中学生世代の居場所づくりとなることを願い、「てらカレ部-あみだ食堂-」を始めることとなりました。6月より第1・第3火曜日の夕方に教務所の一室でカレーを食べたり、おしゃべりしたり、遊んだりしながら交流をしていく内容です。

つきましては、カレーに使用する食材(人参・ジャガイモ・玉ネギ等)を提供いただける方は教務所までお持ちください。なお、鮮度の都合上持ち込みは6月に入ってからお願いします。また大人数を想定したものではありませんので、持ち込みは少量ずつでお願いします。併せて、娯楽用のおもちゃ(トランプ、かるた、オセロ、将棋など)を提供いただける方は是非教務所までお知らせください。

教化事業・その他行事のご報告

◆連続教学講座(第3回)◆ 研修部門主催

去る4月26日(水)～27日(木)に第16期連続教学講座三回目が行われた。講師は藤場俊基氏。テキストは『浄土論注』。担当班が事前学習を経て、共同訳と疑問点の発題をおこなった。内容は論註上巻後半の、菩薩の四種功德の『無余供養』『遍示三宝』であった。問題提起では「供養」「三宝」などについて、僧侶としての私たちがいただく供養、布施のあり方が深く討論され、先生からは浄土教の歴史を含めて厳しく解説された。曇鸞大師が出遇われたものに、私達もその言葉に出遇える貴重な時間。学びの場として皆真剣に藤場氏の講義を聞かせていただいた。

〈第10組 教忍寺 山形 宗立 記〉



◆北陸連区保護司研修大会◆

去る5月17日(水)～18日(木)に、富山県魚津市の金太郎温泉を会場として、北陸連区真宗大谷派保護司研修大会並びに総会が28名の参加者で開催された。講師にはNPO法人「富山ダルクリカバリークルーズ」代表 林敦也氏と同職員高見陽介氏を迎え、「薬物依存症からの回復」～ダルクからのメッセージ～という講題でお話をいただいた。両氏の薬物使用から薬物依存症へ、そしてダルクにたどり着くまでの体験を振り返りながら話をされた。最後に代表の林氏から「薬物依存は『病気』です。『心の闇』『関係性の病』です。つまり、自分一人の力では自分の意思や根性の力では治すことが出来ないということであらわしています。」と話があった。

自ら薬物依存からの回復(生きることの回復)を願うものにとって、社会の中でそのままの自分を引き受けてもらえる居場所が必要であり、自ら心を開いて本音で話し合うことの出来る仲間が大切であると話された。

講演終了後、総会が開催され提出された議案が審議され全会一致で承認された。また、最後に次回当番の能登教区より参加の呼びかけを行い、総会を終了した。

〈能登教区保護司会長 美濃 晃 記〉

本山・教区事務についてのご連絡

◇臨時教区会・臨時教区門徒会報告◇

5月10日に臨時教区門徒会が、12日に臨時教区会が召集され、下記の通り新教区役職者が選出されました。

教区会議長 畠河 度 (第14組 宿善寺)

教区会副議長 完 恵 (第10組 永誓寺)

教区会参事会員 蓮池 則也 (第1組 願生寺)

椿紅 徹英 (第3 浜方組 西念寺)

貫井 和也 (第4組 恵光寺)

岡本 満葉 (第6組 覺成寺)

安藤 順祐 (第7組 願誓寺)

葛城 眞証 (穴水組 本教寺)

佐々木 高 (第13組 長福寺)

同補充員 篠塚 栄祐 (第10組 法融寺)

大久保 昇 (第14組 正永寺)

済美精舎責任役員 貫井 和也 (第4組 恵光寺)

葛城 眞証 (穴水組 本教寺)

完 恵 (第10組 永誓寺)

笹田 了雲 (第12組 佛乗寺)

生實 正 (第13組 正福寺)

畠河 度 (第14組 宿善寺)

教区門徒会長 浅見 茂雄 (第7組 長徳寺)

教区門徒会副会長 岩田 弘 (第3 浜方組 存立寺)

◇敬弔◇(教区通信5月号 掲載以降)

御生前の御苦勞を偲び、謹んで哀悼の意を表します。

第12組 西光寺 坊守 湖景 幸子 2017年4月29日

第6組 善通寺 前住職 白藤 順也 2017年5月13日

◇本山経常費完納寺院◇(2017.4.1～4.30迄)

2016年度本山経常費をご完納いただき、有難うございました。
 ここにご披露申し上げ、御礼に代えさせていただきます。

第1組	願生寺	第7組	長樂寺
第2組	子浦専勝寺 長永寺	第12組	三忍寺
第3浜方組	恩敬寺	第13組	福勝寺
第3山方組	願行寺		

◇教務所事務休暇について◇

下記期日を事務休暇とさせていただきます。ご不便をおかけいたしますが、よろしくお願ひいたします。
 【緊急連絡先携帯番号 090-5685-5611】

2017年6月9日(金) 教区同朋大会振休のため

◇新入職員教務所実習について◇

6月6日(火)～7月25日(火)迄の間、宗務所新入職員の研修の一環として、教務所実習が実施されます。能登教務所においても上記期間中、1名の新入職員の受入れを行いますのでご承知ください。

◇おすすめ出版物の紹介◇

ワンコインブックシリーズ 《A6版/20ページ/86円》



仏というとお釈迦様を思い浮かべますが、実はお釈迦様だけが仏ではないということを手掛かりに、「同朋」という言葉の表す上下関係のない出会いとはいかにして開かれるかを考えていきます。

「凡夫」とはいったい誰のことを指すのか。聖者ではなく凡夫が歩む仏道について、親鸞聖人の言葉をもとに尋ねていきます。



恩に報いることを表す「報恩」について尋ねます。「報恩」という言葉が示す内容とは何かについて、親鸞聖人や蓮如上人の言葉を手掛かりに考えていきます。

※このシリーズは、これまでに「本願」「念仏」「信心」「浄土」「往生」「他力」が発刊されています。御一緒にどうぞ!!

※この教区通信は済美精舎ホームページより PDF ファイルでダウンロードすることができます。適宜ご利用ください。

能登教区教化テーマ

ほとけさまに会いにきたいのち、今ともに生きよう

能登教区教化スローガン

一人一人が親鸞聖人に向き合う生活を

済美精舎ホームページアドレス

<http://notokyouku.sakura.ne.jp>